

ちなみに、

えりきみの「えり」こと、勸里絵利奈です。昨年の今頃(1月下旬)、最終面接のためにえらぶの地に降り立ちました。観光で来たことは何度もあったけど、「暮らす」ことを意識してえらぶに来たのはその時が初めて。あの時の4日間は忘れられません。



私ときみちゃんが地域おこし協力隊として赴任する前、「知名字」と「田皆字」ではワークショップを開き、「今後どんな集落にしていきたいのか」をみんなで話し合ったそうです。私たちを呼ぶまでに3年間じっくり時間をかけて下さったことを知ったとき、嬉しさと同時に、プレッシャーを感じたことを覚えています(今では気負わず、のびのびやらせてもらっています！)。

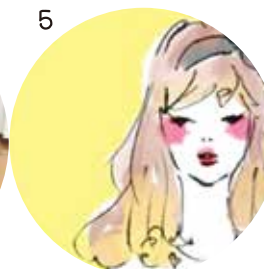
知名字でのワークショップでは、知名字の地図を元に、「ここが良いね」「ここが悪いね」と喧々諤々。色々な意見が出ましたが、知名字は移住者が多いから、まずは知名字のことを知ってもらいたいね、と、話がまとまりました。

今、私は、移住して間もない方に向けた、知名字パンフレット「知名ぐらし」をつくっています。表面には知名字の概要が書かれていて、裏面には知名字のMAPが付いているもの。2月中には完成する予定なので、完成したら何らかの方法でお見せできるようにしますね。

その中に書かせていただいたことを、少し紹介します。

「島の暮らしは、不便なことが多いかもしれませんが、でも、きっと、不便さに勝る魅力を感じられると思います。何を魅力と感ずるかは、きっと人それぞれ。この冊子が魅力を見つけるヒントになれば、こんなにうれしいことはありません。一つお願いがあります。誰かに優しくされたとき、その優しさを、周りに「お裾分け」してください。お裾分け“するものは、モノ(物質)である必要はありません。(親切にする)”という行為も大歓迎!」お裾分け“する先は、人でなくても結構です。(動物や自然に対してでも良いですね!)一人一人の優しさが、紡がれて、循環する暮らし。これが、知名字に暮らす人が昔から大切にしている、失いたくないと思っている、共通の魅力です」

ちなみに、私は、知名字だけじゃなく、沖永良部島全体にこの魅力を感じています。次回、この原稿を書かせていただくときは移住2年目に突入しています。引き続き、「えりきみ」をよろしく願います!



1_絵本作家Hobiさんとルート回り。知名字に小さな洞窟があるの知ってました? 2_ここはどこでしょう! 3_おでんミーティング→(4に続く) 4_(3の続き)小さい頃の話で盛り上がり、なぜか回転レシーブ大会。5_制作は東京のイラストレーター「nodeko」さんをお願いしています。